

# かなざわ 1月号

令和2年1月7日

横浜市立金沢小学校

金沢区町屋町26-26

☎781-2401

## 年の初めに

学校長 中山 光恵



新年、あけましておめでとうございます

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
日頃より、金沢小学校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますこと、また子どもたちを温かく見守っていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

令和二年は子年。「子」は、「増える」を意味する「孳(し)」で、種子の中に新しい生命が萌(きざ)し始める状態を表していると考えられています。「子」は十二支の第一番目。新しいサイクルの始まりです。新しいことに取り組み始めるのにも絶好の機会とも言えるでしょう。

新学習指導要領の全面実施も4月からです。学校目標の「創りだせ Tomorrow わたしは Challenger」を実現すべく、職員一同、心新たに力を合わせてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年も箱根駅伝が開催され、青山学院大学が2年ぶり5度目の総合優勝を果たしました。箱根駅伝の正式名称は「東京箱根間往復大学駅伝競走」。NHK大河ドラマ「いだてん」でも放送されましたが、きっかけは、ストックホルムオリンピックに出場した日本人五輪選手第1号の金栗四三らの、「世界に通用するランナーを育成したい」という強い思いからでした。1917年(大正6)に日本で初めての駅伝となる「東京奠都五十年奉祝・東海道駅伝徒歩競走」が京都三条大橋と東京・上野不忍池間で行われ、これが箱根駅伝の原型となりました。箱根駅伝が誕生したのは、1920年(大正9年)。今年で96回目となりました。

今年私が着目していたのは、神奈川大学4年の越川堅太選手。戸塚→平塚間の3区、21.4kmを走りました。実は、越川選手は金沢小の卒業生なのだそうです。スポーツサポーターの金子さんから、水曜の朝遊びの時に「ぼくは絶対に箱根駅伝に出るんだ」と言っていたと伺いました。小学生のころから俊足で、6年生の時には海の公園・八景島で行われている金沢区ロードレース大会で第一位。その後も中学・高校と力を蓄え、大学1年から箱根駅伝に出場しました。自分の夢に向かって、自分を磨き続け、夢を叶えた姿は本当にすてきでした。

金沢小の子どもたちは、どんな夢をもっているでしょう。年の初めにあたり、どんな目標を立てたでしょうか。自分が思い定めたことに向かって、一步一步、果敢にチャレンジしてほしいと思います。